



ふるさとくまさんデー

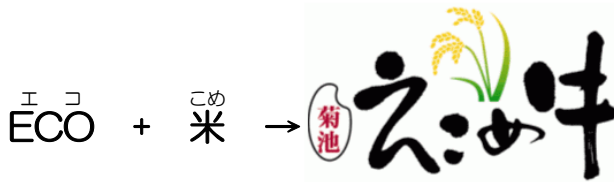


毎月 19 日前後は「ふるさとくまさんデー」です。今年は、菊池地区で生産される食材を紹介します。

1月

えこめ牛

「えこめ牛」の名前の由来は、環境にやさしい「エコ」と「米」を掛け合わせて「えこめ牛」です。



菊池地域の米（飼育用米）を1頭あたり約300 kg食べて育てた牛です。

Q. 牛がお米を食べると「エコ」につながるわけは……

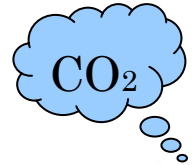


1. 地球温暖化ガス（CO₂）を削減できます！

牛は、外国産のトウモロコシを主体としたエサで育てます。

外国から船で日本に運ぶ時に、たくさんのCO₂がでます。

「えこめ牛」はエサの一部を菊池地区で生産されたお米を食べさせることで、エサの輸入に係るCO₂を減らします。



2. 水田を守ることで地下水の量を一定にすることができます！

高齢化などにより、お米を作る農家が減っています。

水田の減少につながっていますが、「えこめ牛」が食べる

飼料米を作れば水田を維持できます。

また、水田に溜まった雨水等の多くは、地下にゆっくりと浸透して地下水となり、地下水の量を一定に保つ役割があります。地下水は私たちの生活用水として使われています。

